

木材ジャーナル名古屋・せぶ

令和4年11月号 No.186

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

令和4年度「木の日」の要望活動実施

木材業界では例年「木の日」(10月8日)を期して、業界全体として木材の利用推進のための普及啓発活動等を展開してきている。

愛知県木材利用推進協議会(西垣洋一会長)では、本年10月14日(金)に協議会構成団体の各代表等13名が参加して、県庁、県議会に木材利用推進に関する要望活動を行った。その要望活動の内容は次の通りでした。



(愛知県 大村知事)



(愛知県議会 須崎議長・佐藤副議長)



(建築局 寺本技監)

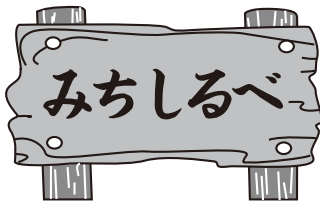
要望項目〔県、県議会〕

- 1 民間建築物のモデルとなるよう率先して県の庁舎等公共建築物や、アジア競技大会を始めとする大規模プロジェクトにおける関連施設整備等での木造・木質化の推進
- 2 低層非住宅や中高層建築物等における県産木材の利用を進めるため、愛知県、大学、建築関係者、木材関係者の連携協力により木造化・木質化に関する知識・技術を有する技術者の育成
- 3 都市部を中心に民間施設等における木造・木質化を支援する「木の香る都市づくり事業」の拡充及び継続
- 4 森林環境譲与税を活用した木材利用への支援強化
- 5 充実した人工林資源を利用した外国産木材から県産木材への転換、特に今後、人工林の高齢級化の進展に伴い増加する大径材の利用拡大を推進
- 6 川上・川中・川下をつなぐサプライチェーンマネジメントにより、県産木材の安定供給体制を構築

愛知県木材利用推進協議会構成団体

団 体 名	代 表 者
一般社団法人愛知県木材組合連合会	会 長 西 垣 洋 一
愛 知 県 木 材 協 同 組 合 連 合 会	会 長 服 部 伸 一
愛 知 県 森 林 組 合 連 合 会	代表理事会長 村 松 幹 彦
愛 知 県 森 林 協 会	会 長 峰 野 修
愛 知 県 木 材 市 場 連 盟	会 長 鈴 木 善 一 郎
愛 知 県 木 材 買 方 協 同 組 合	理 事 長 竹 内 喜 陽 雄
中 日 本 合 板 工 業 組 合	理 事 長 内 藤 和 行
愛 知 県 木 材 青 壮 年 団 体 連 合 会	会 長 河 津 裕 之

“いま、木に本気” ぐらしに活かそう木の良さを



いよいよ60時間／月を超える時間外労働の 割増賃金率が50%に

名古屋港木材産業協同組合
理事長 服 部 伸 一

現在、中小企業において、月60時間を超える残業についての割増率は25%に据え置かれていますが、半年後の2023年4月1日からは中小企業においても月60時間を超える時間外労働の割増賃金率が“50%以上”になります。

また、労使協定を結んだうえで、労働者が希望すれば引き上げた25%の支払いに代えて有給休暇を与えること（代替休暇の付与）の採用も可能となります。

注）労働者に時間外労働をさせる為には36協定の締結が必要です。

令和4年9月号No.184「物流業界の2024年問題」の文章でも述べましたが、政府が割増率を引き上げる本質的な理由は「長時間労働の削減」であり、長時間労働を減らすことがあらゆる意味で企業、ひいては社会を健全化すると考えられているからです。

私は個人的には代替休暇の取得を促すよりも（運用面も煩雑でもあり）、原則、時間外労働時間が60時間を超えないようにすることで対応したいと考えています。

【長時間労働の問題点】

- ・長時間労働に対する高いコスト（高い割増賃金率）
- ・長時間労働による労働災害の発生リスクと効率の著しい低下
- ・長時間労働による離職率の増加（一部の外国人労働者は残業を求める傾向にあるが）

【問題解決のポイント】

対応が出来ていない場合は現状の労働時間を把握し、必要に応じて手段を講じる必要があります。

- ・経営者だけでなく会社全体で長時間労働を悪習慣として認識し、改善意識を共有する。
- ・費用を投下し、合理化の為に設備や機器、ソフトを導入し人的工数を減らす。
- ・木材業界によくある仕事の一部の人員に集中することを改め、誰でも出来るようにする。

来年に迫っている猶予撤廃を「またしても会社を苦しめるやっかいな事」と思いがちですが、木材業界が他の業界に比べ後れている現状、若い社員の採用が難しい現状を素直に認め、会社を近代的に進化させるチャンスと捉えては如何でしょうか。

◆ 合縁木縁 ◆

「 技術について 」

最近、技術についてよく考えることがある。

昨今、技術の喪失が日本の社会問題として提起されているものの、解決の糸口が中々見つからず深刻化しているのが現状。ものづくりの技術が失われつつあると感じていると答える技術者は95%に上るというアンケート結果も出ている程だ。

私は技術の喪失についてやや誇張した言い方をすると、人類の進化の過程で避けられないものだと思う。古来より人類の構造は五体から進展はなく、その中で如何に選択肢を増やし、新たなものを生み出せるのかを試行錯誤してきた。その成果物が「技術」であると考えている。そうであれば、安全かつ楽のできる技術を重宝し、危険で手間のかかる技術が衰退していくことは当然のことであろう。衰退している技術を残すことは、その大きな流れに対抗することと同じと言えるのではないだろうか。まだまだ知識が足りていないが、それだけ技術を残すということは難しいことは理解できる。

ただ私はどんな困難が待ち受けようとも、現存する木材を扱う高度な技術は残すべきだと考えている。なぜならそこには歴史があり、ドラマがあり、数百万人の技術者の誇りの結晶であるからだ。例えば大量生産された家具は安易に取り替えられるが、職人さんが手塩にかけた家具は、多少生活に合わなくてもそう簡単に捨てることはできない。歴史的な寺社仏閣には集合住宅にはない、厳かで神聖な雰囲気立ち込める。無垢にはプリントでは表せない深みと表情がある。私は「高度な技術にはモノに質を与え、高度な次元へ引き上げる力がある」と思っている。

話が色々広がってしまったが、要するに技術は繊細で、誰かが残そうと思わなければ、いとも容易く時代に取り残されてしまうものである。しかし、時代に取り残されようが残すべき価値のある技術は沢山あるため技術者は立ち上がり、もがき続けなければならない。

そんなことを考えながら、今日も私は「木は良いものだ」と声を上げる。

今回は、株式会社浅井製材所 浅井 一昭氏にお願いします。

◆ 自遊で異見番 ◆

「 行楽シーズン 」

10月11日から観光振興策の「全国旅行支援」が開始され、旅行予約サイトがつながりにくい状態になったり、一部のサイトでは既に予算の上限に達し受付を終了した自治体もあるほど、初日から盛り上がりを見せています。外国人旅行者の入国制限も大幅に緩和されインバウンド需要も見込め、観光業界の方々にとっては待ち望んでいた施策だったと思います。ただ、急な開始でシステムも複雑という声もあり、参加を見合わせる施設もあるようです。とはいえ、これからの行楽シーズン各地の観光地は久しぶりの賑わいを見せることになるでしょう。

さて、私事でございますが8月中旬頃にコロナ感染をして10日間自宅療養をしていました。感染者が高止まりしている状況で「いつ感染してもおかしくない」と口にはするものの、身近な者で感染者は出ていませんでしたので「感染はしないだろうな」と根拠の無い安心感がありました。

8月某日、喉が痛くなり微熱が出たところで心配になり抗原検査キットで自己診断したところ「陰性」。しかし翌日熱が38度まで上がったので病院へ連絡すると、時間指定され駐車場で検査をするとのこと。時間になると防護服の物々しい姿の方が現れ、検査キットを涙が出るほど鼻の奥へ突っ込みました。この時、前日自分で行った検査がいかに緩いものだったかと反省。これから自分で検査する人は怖がらずに思い切り鼻の奥に突っ込むことをお勧めします。結果は「陽性」。それから39度前後の熱が3～4日程続きましたが寝込むということもなく食欲も旺盛でしたので、体感的には軽症者だったと言えるかもしれません。ただ、喉のイガイガと咳は思いのほか長引いて、電車に乗るのは気が引けしばらくは車で通勤をしていました。

手指消毒、うがい、マスクなどの感染対策は自分なりに行っていたつもりですし、人込みと言えば通勤電車くらいで、まさしく「いつ感染してもおかしくない」でした。

この原稿を書いている10月12日現在、感染者数は減少傾向にありますが、3年ぶりの行動制限の無いGW、お盆が第7波の要因だったとすれば、旅行支援や外国人の入国緩和が第8波の呼び水とならないとも限りません。観光地が賑わうことは喜ばしいことだと思いますし、私自身も機会があれば出掛けたいと思います。ただ、自分だけが気を付けていてもどうにもならないと今回のことで痛感しましたし、ある程度リスクは覚悟して出掛けなければいけないかなと思っています。

とはいえ、せっかくの支援策ですし大いに利用して、これからの「3年ぶりの行動制限のない行楽シーズン」を油断せずに楽しみましょう。

飛島村 親子木工教室 が開催されました

令和4年10月2日（日）に飛島村南拠点避難所（旧飛島中学校）にて飛島村親子木工教室が開催されました。毎年大変好評をいただいております。名古屋港木材産業協同組合の委託事業となり今年で4年目となりました。コロナ感染防止の観点から午前・午後の各6組で実施され国産材のスギ・ヒノキを使用した「ランドセルラック」作成しました。

講師のリーダーは、名古屋港木材産業協同組合 広報委員会の 稲生委員、サポート講師として、上地広報委員長、成瀬、三宅、秦野、松井各委員と材惣木材（株）澤木さん、事務局から柿内と佐治が参加しました。教室では稲生委員が作業工程、木表・木裏等を丁寧に説明し、参加した親子はバンドでの接着や金づちで釘を打つ作業を行いました。

参加後のアンケートを以下に掲載しましたが、実りの多い教室となりました。

（アンケート結果）（感想）

- ・いい経験でした。ありがとうございました。
- ・親切に教えてくださいました。
- ・釘を打つ時がなかなかないので子供もいい経験ができました。ありがとうございました。
- ・先生の教え方が上手でとても上手にできたと思います。とても便利な物なので大切にしていきたいです。今後、木工教室があるとしたらやりたいです。
- ・とても楽しかったです。次回も参加したいです。
- ・おもしろかったです。
- ・初めてのDIY、とても大変でしたがたくさんの方に支えられて、何とか完成できました。感謝です。
- ・これをきっかけに何か他の物も作れたら楽しいですね。
- ・いろいろネジを打ったり、やすりで削ったりいろいろできたので楽しかったです。
- ・釘打ち等子どもでもできる作業があり、親子で楽しめたと思います。
- ・親子で楽しく参加させていただきました。ありがとうございました。釘打ちも段々と上手になっていき嬉しかったです。
- ・難しいけど楽しい。



☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

キャッシュカードに切れ込みを入れる詐欺手口に注意!

当署管内で、高齢者がキャッシュカードを騙し取られる特殊詐欺被害が発生しました。犯人は、電話で警察官を騙り「あなたの口座から現金が引き出されている」と説明し、言葉巧みにキャッシュカードの暗証番号等を聞き出しました。その後、高齢者宅を訪問した犯人は「キャッシュカードを使用できなくする」等と説明し、面前でキャッシュカードの一部を切断してから回収し、そのカードで現金を引き出しました。切断したキャッシュカードで、なぜ、現金を引き出せたのでしょうか?それは、犯人が意図的にカードのICチップ部分を切らなかつたからです。警察が電話でキャッシュカードの暗証番号を聞き出したり、キャッシュカードを預かることはありません。キャッシュカードの取扱いを間違えないよう、御家族等に注意喚起をお願いします。

蟹江警察署 生活安全課 生活安全係 TEL.0567-95-0110

◆ 広告コーナー

集塵装置の省電力・安全

ご提案します!!

木質バイオマスの利活用

- バグフィルター集塵機
- サイクロン集塵機
- 定量排出装置
- トラック積載装置

- 破砕機 ウッドグラインダー
- 粉砕機 ファンシュレッター
- 火花探知器・安全装置
- 異物除去器

- 木質ペレット製造装置
- プリケット
- 送排風機
- ダクト部品

快適な環境づくりに取り組む

井上電設株式会社

TEL 052-322-5271 <https://www.inoue-d.co.jp>

KMEW

ケイミューが培ってきた
技術と経験で、
屋根・壁・雨といを
トータルにご提案します。

ケイミュー株式会社

お客様ご相談窓口

〒540-6013 大阪府大阪市中央区城見1-2-27 クリススタワー 13F

ケイミューは「パナソニック」と「クボタ」が出資している両社のグループ会社です。

0570-005-611

●受付時間：月～金9:00～17:00

発行 名古屋木材組合

発行者 西垣 洋一

〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10

TEL <052> 331-9386

FAX <052> 322-3376

【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合

発行者 服部 伸一

〒490-1444 海部郡飛島村木場1-74

TEL <0567> 57-2017

FAX <0567> 57-2018

【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会